

3年学年通信 6月号

当たり前のことを当たり前

いよいよ3年生の大きな行事である修学旅行が近づいてきました。学級では修学旅行に向け、新幹線やバスの座席決め、ホテルの部屋、班決めが行われました。昭和初期の修学旅行は、明治時代の様子について学んだり、学術研究を兼ねたりした宿泊行事でした。現在でも、総合的な学習の一環として、訪問地での調べ学習をします。これまで生活した友達と、一緒に学び、一緒に喜び、一緒に感動する経験は、卒業して別々の道に進んだとしても、心に残る経験になると思います。

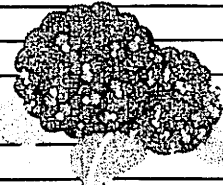
以前ある講演会で陸上部の監督からこんな話を聞きました。いい選手だがなかなか大きな大会で結果を残せないという選手がいました。何気なくその選手のかばんを見ると、いつもファスナーの口が開いている。よくよく様子を観察してみると、靴を揃えて脱げない、脱いだ服を片づけられないなど生活面でできていない部分が多く目に入ってきました。その監督はまずかばんのファスナーを意識して閉めなさいと声をかけました。選手が意識して閉めるようになると、不思議なことに少しずつ記録や結果が伸びてきたそうです。

みなさんはどうですか。ナップザックや筆箱のファスナー、開きっぱなしになっていませんか。げた箱のくつはきちんとそろっていますか。この時期だからこそ、もう一度自分の身の回りを振り返ってみましょう。「当たり前のことを当たり前に行う」そのことが、夏の大きな結果につながる一歩かもしれません。

(2組担任 川角幸久)

【生活目標】 時間を大切にしよう

日	曜	6月の予定
1	金	第1回実力テスト 卒業アルバム部活写真撮影
2	土	④授業参観【道徳】弁当持参 第1回PTA資源回収 14:00～
3	日	
4	月	
5	火	修学旅行1日目 8:40 集合
6	水	修学旅行2日目
7	木	修学旅行3日目 18:20 解散
8	金	2日の振替休日
9	土	漢字検定 13:30～
10	日	
11	月	
12	火	生徒委員会 期末テスト範囲発表
13	水	生徒会資源回収(～15日) PTA挨拶運動(～18日)
14	木	特別日課 午前中4時間授業
15	金	部活動懇談会
16	土	
17	日	
18	月	更衣完了
19	火	期末テスト1日目
20	水	期末テスト2日目 第1回ふれあい会議 13:40～
21	木	⑥学校集会
22	金	
23	土	
24	日	
25	月	
26	火	
27	水	
28	木	第1回学校保健委員会
29	金	
30	土	



【7月の主な予定】

4日(水) 選手激励会

7日(土)、8日(日) 安城支所予選

10日(火)～12日(木) 個別懇談会

14日(土)、15日(日) 西三陸上競技大会

16日(月) 中部日本吹奏楽コンクール西三河南ブロック大会

19日(木) 給食終了

20日(金) 終業式



旋風

～ 自らの力で何事も手やレンジ～

◎立案会で学年スローガンが決まりました！

一人ひとりが自ら動き、まわりを巻き込んでいこう！
自分の行動で、クラスを、学校全体を変えていく。日常生活や学校行事など、何事も全力でチャレンジできる学年になる。という意味が込められています。

スローガンを意識して、日々の生活を過ごしましょう！

★最後の夏に向けて★

チームのために

僕たちバスケットボール部の支所予選での目標は、技術面ではディフェンス、精神面では応援やコミュニケーションを含めた声を出すこと、そういった自分のやるべきことを意識して行い、相手に勝つことです！しかし、まだまだ声が小さく、意識できていないので、まずはキャプテンである自分が大きな声を出して、チームを引っ張っていきます！

(男子バスケットボール部部長 濱田 怜)



目標達成に向けて

これまでの大会では、チャンスでの一本が出ず、接戦の試合を落とし、上の大会に勝ち進むことができませんでした。最後の大会では、県大会突破という目標を達成するために、練習から試合を意識して取り組み、個人の意識も高めていきたいです。大会までの二か月間、一回一回の練習を大切にしていきます。

(野球部部長 苫井 怜志)



積み重ねてきた努力

今まで部活をしていく中で、多くのことを学び、強くなりました。最後の大会では、自分たちのプレーを落ち着いて行い、パスを繋げて勝ちたいと思います。先輩たちが負けていても諦めなかったように、私も諦めずに走り続けます。そして、後輩にその姿を伝え、次の代にも繋げられるように精一杯プレーします。

(女子バスケットボール部部長 内藤 青生)

最後の大会に向けて

僕たち吹奏楽部は、心に響く素敵な音楽を、聴いている人たちに届けたいという思いで毎日練習しています。最後のコンクールに向けて、僕たちが約二年間練習してきた成果を発揮します。文化祭や、ホームコンサートのように、常に良い音楽を届ける気持ちをしつかりと持ち、コンクール金賞を目指します。

(吹奏楽部部長 大橋 一功)

悔し涙を嬉し涙に

支所予選一回戦敗退。僕は、それを二回経験しました。その度に、先輩たちは悔し涙を流し、それを見るのはとても辛いことでした。二年間そんな思いを持ち続け、とうとう、僕たちの代での支所予選が近づいてきました。今度こそは歴史を変え、勝って嬉し涙で終われるようチーム一丸となり、全力で頑張ります。

(サッカー部部長 勝田 航平)

作品づくりに力を込めて

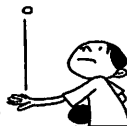
文化部には大会がありません。なので、作品づくりの集大成となるように、一人ひとりが目標をもち、全員が最後までやり遂げられるように頑張っていきます。難易度の高いものに挑戦していき、諦めずに作り続けたいと思います。他の部活が大会に向けて練習を頑張るように、文化部も目標は違うけれど、全力を尽くしたいです。

(文化部部長 石原 瑞記)

リーダーとして

僕は今年の夏はリーダーとして、チームを引っ張っていきます。三年生は、あと一か月半くらいで二年半の間取り組んできた部活が終わってしまいます。最後の大会では、声を出すことを心がけ、全員が全力を出せるように、良いチームの雰囲気を作っていきます。後悔のないようにやり抜きます。

(男子卓球部部長 日高 潤志)



全員が

僕は今年になって、「みんなで勝つために、みんなを支える」ことを考えてやってきました。仲間がいないと戦うことができないテニスで、ここまでみんなと成長してきました。だから、全員で県大会を目指して頑張ります。そして、全力を尽くして戦うことが仲間への感謝だと信じて、絶対に勝ちます。

(男子ソフトテニス部部長 早川 純平)

目標に向かって

私たち、女子ソフトテニス部は支所予選に向けて、一試合でも多くコートに立てることを目標に練習に励んでいます。毎日の練習では、自分のプレーが本番でもできるように試合を意識しています。大会当日は、緊張しても大きな声を出し、「二人で一本」ということを心がけて、勝ち進んでいきます。

(女子ソフトテニス部部長 都築 史絵)

後悔しないために

支所予選まであと一か月。泣いても笑ってもこれが最後の大会です。先輩たちが優勝して喜び合ったように、私たちも絶対に優勝したいです。悔いの残らないように、日頃から試合を意識した練習をするなど、本番で自分らしいプレーができるようにしたいです。自分を信じ、仲間を信じ、二連覇目指して頑張ります。

(女子卓球部部長 杉本 瀬奈)

最後の夏

私たち陸上部は、最後の夏の大会に向けて日々努力を重ね、暑い日差しの中グラウンドをかけまわっています。日々の練習では、仲間同士競い合い、励まし合いながら自分自身を高めてきました。陸上部はそれぞれ種目は違いますが、それぞれの目標に向かってハングリー精神を忘れずに最後の大会に挑みます。

(陸上部部長 本田 亜子)



必勝必笑

「このメンバーで、少しでも長くバレーがしたい！」今では、全員がそんな思いで練習をしています。約二年間で築いてきた絆は、どの中学校にも負けません。これまで悔しい思いをたくさんし、強くなってきました。自分たちの目標である、「必勝必笑」最後の大会では目標を達成して、西三大会へ行きます。そして、全員でボールをつなぎ、攻めて勝ちます。

